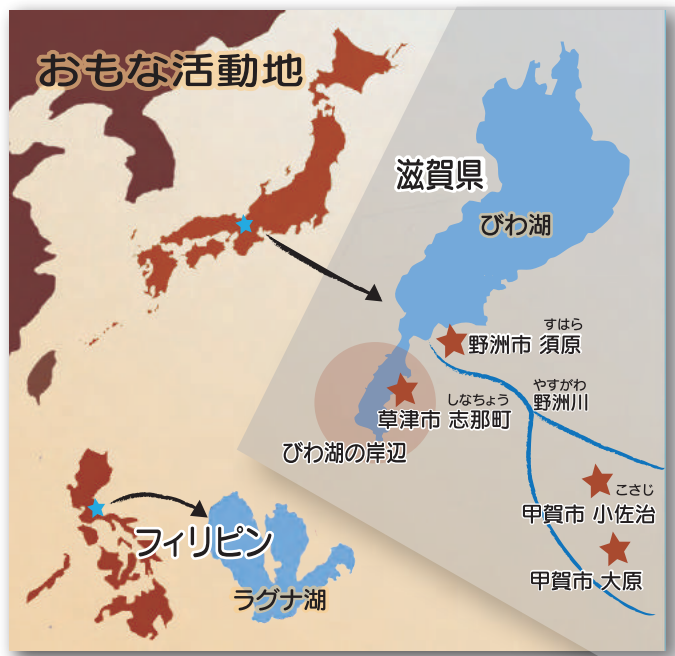


どこで何をやっているのか？

生物多様性のホットスポットである **びわ湖流域** および

富栄養化や生物多様性の低下が深刻な **フィリピン ラグナ湖流域** を主な調査フィールドとして、比較研究をおこなっています。



フィリピン ラグナ湖流域

ラグナ湖の東南に位置するシラン・サンタ・ローザ流域では、急速に経済が発展しています。人口が過密な下流域では、生活排水や産業廃水が川に流れこみ、富栄養化や生物多様性の低下が問題となっています。また、森林が伐採されて農地になった上流域では、化学肥料が地中にしみ込んで飲み水につかう地下水の汚染が心配されています。現在、地元の行政や研究者と協働して、川や地下水の汚染問題の解決に取り組んでいます。



「聖なる泉」の保全

中流域のカルメン村では、流域に暮らす人たちにさまざまなめぐみをもたらす「聖なる泉」を守る活動のお手伝いをしています。

e-rec とは？

エコロジカル・リサイクリング の略です。生きものの動きや生きものの同士の関わりを通して生態系の中で栄養分が循環(リサイクル)する様を表した言葉です。



えいようじゅんかん

栄養循環プロジェクト

生物多様性が駆動する栄養循環と流域圏社会－生態システムの健全性



<http://www.chikyu.ac.jp/e-rec/>

栄養循環プロジェクト 🔍 検索



@chikyu.erec



@erec.3ken



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
総合地球環境学研究所
Research Institute for Humanity and Nature

第3研究室 栄養循環プロジェクト

〒606-8047
京都市北区上賀茂本山457番地4
Tel.075-707-2100(代表) 075-707-2287(直通)
E-mail room3@chikyu.ac.jp



ひろげよう、活動の輪

地域から流域へ

そして次世代へ



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
総合地球環境学研究所

栄養循環プロジェクトは、流域に暮らす住民一人ひとりが身近な自然の価値に気づき、行政や研究者など多様な主体と協働して流域の健全性を向上する活動を進めています。

びわ湖流域

びわ湖にそそぐ野洲川流域を対象として、上流・中流・下流・沿岸の4地域で身近な自然を守る5つの活動に取り組んでいます。

流域の上流から下流、そして、びわ湖の沿岸まで、それぞれの地域で培われてきた自然を賢く利用する知恵を活かし、地域固有の自然を守る活動に住民と一緒に取り組んでいます。

そのような活動を通して、「人と自然のつながり」や「人と人のつながり」を促し、「地域のしあわせ」を向上するお手伝いをしています。



流域で栄養分が循環するしくみ（栄養循環）を保ち、失われつつあるいきもののにぎわい（生物多様性）を取りもどすには、身近な自然を守る活動が必要です。身近な自然の価値に気づき、やりがいやしあわせを感じながら活動の輪を広げることによって、人といきものでにぎわう、健全な流域をめざします。健全な流域を将来に受けつぐには、人と自然の関係が歯車のようにかみ合って、まわり続けることが大切です。



⑤ みずくさ たいひ 水草堆肥
びわ湖の岸辺



新たな地域の資源として水草の利用と活用を促す活動をお手伝いしています。

④ ないこ 内湖つながり再生
草津市 志那町



内湖とよばれる平湖や柳平湖へ産卵におとずれる魚の生態や水の調査を行い、地域の方たちの環境を見守る活動をお手伝いしています。

① はぐく 湖育む森
甲賀市 大原



甲賀の森と河川やびわ湖のつながりを実感し、流域の人たちが森林保全に関わる活動をお手伝いしています。



③ ゆりかご水田
野洲市 須原



湖辺の水田を対象として始まった滋賀県の「魚のゆりかご水田プロジェクト」に住民の参加を促すしくみづくりをお手伝いしています。

② いきもの育む水田
甲賀市 小佐治



地元の農家の方たちが営む伝統的な農業の知恵を活かした田んぼのいきものの保全活動をお手伝いしています。